

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第427号 平成20年7月



『ムラサキツユクサ』 田村 啓彦

目

	頁
1) 西多摩医師会第1回定時総会開催 広報部 … 2	
2) 病院部学術講演会 学術部 … 3	
3) 感染症だより 西多摩保健所 … 4	
4) 西多摩三師会総会開催 広報部 … 6	
5) 伝言板 広報部 … 7	
6) 専門医に学ぶ 角 卓郎 … 8	
7) 新入会員紹介 渡邊哲哉 … 10	
8) 地区だより 青梅市医師会総会開催 鹿兒島武志 … 10	

次

	頁
9) 青梅市立総合病院外来診察分担表 広報部 … 11 公立福生病院外来診療担当医表 公立阿伎留医療センター外来部門診療担当医表	
10) 理事会報告 広報部 … 15	
11) 会員通知・医師会の動き 事務局 … 17	
12) 表紙のことば 田村啓彦 … 18	
13) お知らせ 事務局 … 19	
14) あとがき 鹿兒島武志 … 20	

平成20年度 西多摩医師会 第1回定時総会開催

広報部

さる5月29日にフォレストイン昭和館にて20年度医師会総会大会が開催された。会長の開会宣言の後、議長には大堀洋一会員が推挙され、総会の資格審査・定足数に関する報告がなされた。会員総数507名。(A会員202名、B会員303名)で開催定足数を満たしており、議事録署名人は坂元保巳、木野村幸彦の両会員に指名された。

本総会の議案は以下の通り。

1. 報告事項 平成19年度各事業報告

1. 審議事項

第一号議案 平成19年度収支予算につき承認を求める件。

第二号議案 平成19年度預かり金につき承認を求める件。

第三号議案 平成19年度西多摩医師会互助会収支計算につき承認を求める件。

1. 監査報告 平成19年度監査報告

報告事項については各担当理事より概要が説明され、審議事項は野本正嗣理事よりまとめて会計報告が提示された後に審議事項は賛成多数で承認された。また監査報告は足立監事より会計監査が適切かつ公正に行われたと報告があった。議案の審議終了後に真鍋会長が閉会の挨拶をした。

要旨；特定健診は各市町村が個別にスタートするが医師会としては将来的には地域内での本体部分のみならず追加事項や電算化についても内容の較差の是正を目指したいと考えている。ついで公益法人制度が本年12月1日より制度化されるが、当医師会としては日医や東医また多摩地区医師会などの進展状況をみながら対応を検討してゆきたい。最後に今期は西多摩医師会創立100周年にむけての助走期間と捉えているので医師会会員の協力を仰ぎたい。

総会終了後に平成20年度の西多摩医師政治連盟と青色申告会医師会支部総会が開かれ会員の賛成多数で滞りなく終了し、隣室にて懇親会が開かれ会員相互の交流を温めた。なお総会に先立ち恒例の講演会が催され今回は阿伎留医療センター外科医長柴田昌彦先生により「大腸癌免疫化学療法の現状」についてレクチャーされた。

要旨（柴田昌彦先生）

本邦での大腸癌化学療法はこれまでの臨床試験の結果と欧米のガイドラインなどを踏まえて決定されている。大きく①治癒切除後の補助化学療法 ②進行再発癌に対する化学療法に分けられる。①はステージⅢに対してUFT+ユーゼル(LV)あるいはゼローダ(Capecitabine)が使われる。いずれも経口投与であるが、後者は特に手足症候群(HFS)の発現に注意が必要である。②の全身化学療法にはFOLFOX4やFOLFIRIなどの多剤併用療法が中心であり、最近では抗VEGF抗体のbevacizumab(アバスタチン)をさらに併用してより高い効果を得ている。また近々増殖因子のレセプター抗体Erbixax(cetuximab)も本邦で認可される予定である。

(文責：鹿児島 武志)



病院部学術講演会 『試練の時代の自治体病院経営』

医師はなぜ、立ち去るのか—地域医療再生のために

平成20年6月13日(金) 西多摩医師会館 講堂

城西大学経営学部 准教授 伊関友伸 先生

自治体病院の経営は非常に厳しい状況にあり、冬の時代を迎えている。自治体立病院経営の難しさは、国の医療費縮減政策、高コスト体質、民間病院の充実による競争の激化、病院経営の素人である、地方自治体が病院経営を行う不合理などの要因による。

財政的な危機以上に、現在、地域医療の存続そのものを脅かす問題となっているのが医師不足問題である。最近では、小児科医、産婦人科医だけでなく、医師全員が退職し、医療が継続できないという病院も出てきている。

医師不足の原因としては、新臨床研修制度の導入、医局制度の崩壊、医療の高度化、仕事の増加（書類の多さ、説明責任）、低い医師給料、患者のコンビニ医療指向、行政の無理解などの要因がある。

医局の派遣に頼っていた自治体病院ほど、医師不足に苦しんでいる。民間の待遇の良い病院に負けないぐらいの待遇（お金だけでなく）を確保しなければ、医師は招聘できない。実際に、講演者が医師と話していると、本質はお金ではないことが良く分かる。自分たちの努力が社会に認められないことに怒っている。患者が医師の疲弊を考えず、自由気ままに休日・夜間診療を受けること。昼間働いて夜診察を受けること。このような患者の行動に疲れ、医師は立ち去っている。

医師が大量退職した病院のケースを分析すると、大量退職は内科、産婦人科が多い、非常に業務が忙しい、地元医師会の協力が少ない、住民がコンビニ感覚で夜間などに診療を受ける、給料は、一律で民間に比べて安い、最初に1人～2人が辞める、医局からの応援補充がないまま、残った医師の業務がさらに重くなり辞めるというケースが多い。

これまで、行政が公設公営で運営することは意義があった。行政が公務員として病院職



員を雇用し、行政のルールで運営し、議会の監視をすることによって、自治体立の病院として「権威」を与えた。「権威」があることにより、医師やお金を集めやすかった。患者からの評価や尊敬が存在した。一般の病院職員も「権威」のある自治体病院に勤務でき、給料も高いので、モラルが比較的高かった。しかし、現在は、時代は変わった。医局制度の崩壊、給与や勤務条件の悪さから、自治体病院に勤務する（したい）と考える医師は少なくなった。医師への待遇向上は、役所のルールを変えるので簡単にはできない。国や自治体本体の財政が厳しく、これ以上の自治体病院への資源投入はできなくなった。住民も自治体病院への尊敬は少なくなり、苦情と憎悪の対象となることが多くなった、事務職員は住民のクレームに弱い。職員も、自治体病院に勤める誇りよりも、現在の既得権を守ることに関心が向かうことが多くなった。

「お役所流」の中央集権的で、規則にガチガチに固められた意思決定のシステムでは病院経営ができない。医療を維持するために必要なことができない。医療の維持にとって不要なことを「あえて」する。既得権を突き崩すことができない。

今の医療改革の動きは性急で、現場の実情を無視したもので、問題がある。国民に、もっ

(4)

と医療にお金をかけることの正当性を訴えかけることが必要。しかし、現在の動きを批判するだけで自治体病院が生き残れるかという疑問。時代の変化に対応していく必要がある。

医師不足問題について、住民も主体的に関わる必要がある。兵庫県丹波市では、母親らが結成した「県立柏原病院の小児科を守る会」が、「お医者さんを守ることが、子どもを守ることにつながる」という考えに立ち、子どもの病気について学び、休日や夜間における

コンビニ感覚での受診を慎もうという運動を行っている。その結果、深夜の小児科の患者数は大幅に減り、医師の負担は軽減され、退職を決意した小児科医が勤務を継続、新しく病院に勤務しようとする小児科医も表れた。

地域医療の再生には、住民を含めた病院に関わる全ての人が、地域の医療を考え、行動をすることが必要である。相手の立場のことを考え、発言、行動をするのは民主主義の基本。地域医療の再生は地域の民主主義の再生にもつながる。

感染症だより

<全数報告>第20週(5/12-19)から第24週(6/9-15)の間に、管内医療機関より以下の報告がありました。

(二類感染症) 結核 10件(肺結核7件、その他3件)

(五類感染症) 麻疹 16件(検査診断例10件、臨床診断例6件 /10歳未満7件、10歳以上9件 /麻しん含有ワクチン接種歴:1回5件、無し10件、不明1件)

<管内の定点からの報告>

	20週	21週	22週	23週	24週
	5.12~18	5.19~25	5.26~6.1	6.2~6.8	6.9~15
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0
インフルエンザ	1	3	1	1	1
咽頭結膜熱	1	5	14	2	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	6	4	14	10
感染性胃腸炎	24	27	13	16	19
水痘	7	2	8	1	8
手足口病	0	0	1	0	0
伝染性紅斑	1	0	1	0	0
突発性発しん	3	2	0	1	2
百日咳	0	0	1	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	1	0	0
流行性耳下腺炎	0	0	0	1	2
不明発疹症	0	0	0	0	0
MCLS	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	0	0	0	0
合計	53	45	44	36	44

※基幹定点報告対象疾病<細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病を除く)>

第20週に細菌性髄膜炎2例(いずれも1~4歳の男児)の報告がありました。

① 全国的に百日咳の発生報告が増加しています。

当管内での発生報告は第22週に1例ですが、全国的には、過去10年間と比較すると報告数が最も多い状態が続いています。都内でも第20週に11例の発生が報告され(0.07人/定点)、一部の保健所管轄地域では警報レベルの1.0人/定点に達しました。それを受けて東京都では5月22日に「成人を主体とした百日咳の流行について」のプレス発表を行いました。発表によると、2008年1月以降に報告された患者のうち約半数は20歳以上で、区内の大学1校で集団発生が確認されています。成人主体の百日咳患者の増加は2007年後半からみられ、過去に受けたワクチンの効果低下が原因の一つと考えられます。東京都では、乳幼児においてはワクチンの確実な接種、成人においては咳エチケットの励行や咳が長引くときの早めの医療機関受診を呼びかけています。今のところ乳幼児における流行のきざしはありませんが、今後の動向に注意が必要です。

② 麻疹の発生報告は減少しています。

都内の麻疹の発生報告は第20週の49例をピークに第21、22週はそれぞれ34例、23例と減少し、23、24週は26例、29例となっています(管内では6例、0例)。全国的にも第17週の541例をピークに減少に転じ、第21、22、23週はそれぞれ236例、277例、243例となっています。年齢別では30歳未満が90%近くを占め、中でも14～17歳が患者発生の中心である状態が続いています。5～6月にはスポーツの対外試合や修学旅行などの行事を催す学校も多く、これら好発年齢層が多数参加する行事の間に、麻疹患者と接触する機会があった場合には、複数の学校・施設等において麻疹の集団発生を引き起こす可能性もあり、引き続き発生動向には注意が必要です。

◎ 震災など災害時の医療体制について

東京都では、震災対策を都政の最重点課題の一つと位置づけ、初動医療体制や後方医療体制をはじめとする災害時の保健医療体制全般について強化を図っています。具体的には、「東京都地域防災計画」において、東京湾北部と多摩直下とを震源とする首都直下型地震の被害想定を示し、医療救護活動に必要な医薬品や医療資材の供給体制を確保しています。

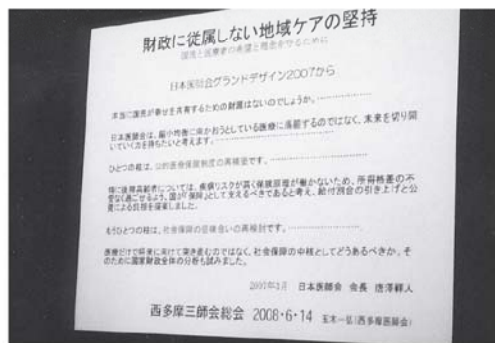
初動期の医療救護活動については、各災害拠点病院による都医療救護班や都歯科医療救護班、都薬剤救護班などを編成し、派遣する体制を整えています。また、災害発生直後からおよそ48時間までの間、東京消防庁の指揮下において救出救助部隊と連携し、災害発生現場等に直ちに関わり、多数の傷病者の救命処置等を行う災害医療派遣チーム(東京DMAT)を平成16年に災害拠点病院に整備しました(現在17病院に整備)。後方医療体制については、災害拠点病院を平成20年1月までに67施設指定するとともに、施設・設備・各機関との連携の強化に努めており、また救急告示医療機関の耐震化率の向上を目指しています。さらに、1都9県並びに8都県市において相互応援協定を締結し、広域医療体制を目的とした連携の強化を図っています。

西多摩三師会総会開催

広報部

6月14日(土曜)フォレストイン昭和館で平成20年度西多摩三師会総会が開催された。司会は角田俊一(歯科)が担当し鏡一郎(歯科)の開会宣言のあと真鍋会長(医科)が挨拶をした。議長;鹿児島武志 議事録署名人は三井田章、森和胤両会員が担当した。議案は平成19年度事業・庶務報告および収支決算、平成20年度事業計画及び予算につき担当者の報告と提示があり賛成多数で可決された。任期満了に伴う役員改選も同様に賛成多数で可決され、最後に針生暎朗(薬剤)が閉会の挨拶を行い総会は滞りなく終了した。(敬称略)

恒例の講演会は玉木一弘都医理事により「財政に従属しない地域ケアの堅持」という演題で2007年の日本医師会グランドデザインを基調として一時間超にわたり発表が行われた。以下講演の概略のみ記述した。



1. あるべき医療の実現に向けて

(国民が望む医療、医療の質のマネジメント、経済力と医療資源のバランス)

2. 国民のニーズにこたえる医療提供体制

(医療を取り巻く環境、病床整備の必要性)

3. 医療保険制度のあり方

(医療・介護費の将来推計、公的医療保険制度のあり方)

4. 社会保障財源の可能性について

(社会保障の意味合い、国家財政の実態、財源の創出へ) など広い範囲にわたり医療社会制度に対して日本医師会の提言を基盤とする都医の見解を述べた。

講演ののち別室で懇親会が盛大に催された。今回は三師会総会史上初めて100名を超える参加者が一同に集いフルコースの食事と数種の銘柄のワインで楽しく会員相互の親睦を深めあった。来賓には2都議を始めとして各市町村の首長も全員参加され盛会を祝って挨拶され、懇親会は10時前にお開きとなった。

(文責: 鹿児島 武志)

伝言板

① 第24回 青梅心電図勉強会

日時：平成20年7月9日(水) PM7:30～
場所：青梅市立総合病院 南棟3F講堂

② 「納涼の夕べ」開催のご案内

日時：平成20年7月14日(月) PM7:30～
場所：昭和の森 フォレストイン昭和館
2F「シルバンホール」 Tel 042-542-1234
講演：青梅市立総合病院 リウマチ膠原病科
副部長 長坂 憲治 先生
『関節リウマチの病態と最近の治療』
会費：A会員 10,000円 B会員 1,000円

③ 第9回 青梅呼吸器勉強会

日時：平成20年7月16日(水) PM7:30～
場所：青梅市立総合病院 南棟3F講堂

④ 西多摩医師会 学術講演会

日時：平成20年7月18日(金) PM7:30～
場所：青梅市立総合病院 南棟3F講堂
演題：「第3世代カルシウム拮抗薬を臨床でどう使う」
講師：桜橋渡辺病院 心臓血管センター長 伊藤 浩 先生

⑤ 第48回 青梅糖尿病内分泌勉強会

日時：平成20年7月23日(水) PM8:00～
場所：青梅市立総合病院 新棟3F セミナー室

専門医に学ぶ 第43回

問題

【症例】 74歳 男性

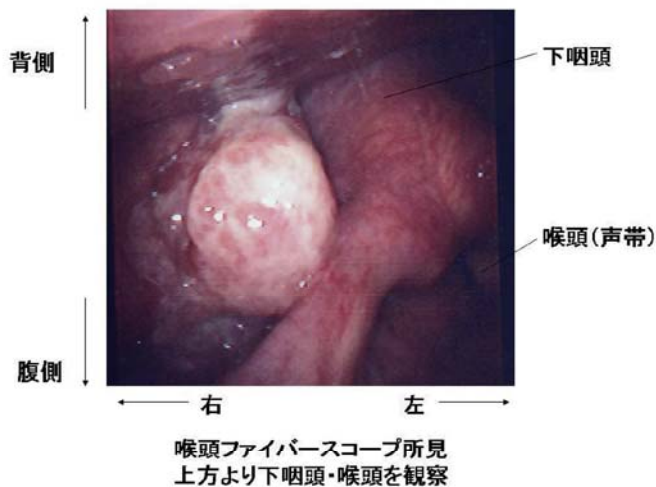
【主訴】 のどに魚の骨が刺さった後違和感が続く

【現病歴】 1ヵ月前、食事中にタラの骨がのどに刺さり、以後のどの違和感が続いている。近医耳鼻咽喉科受診、魚骨異物は認めないが下咽頭に腫脹があり、抗生剤内服行っても腫脹残存するとのことで当院耳鼻咽喉科を紹介され受診した。

【既往歴】 高血圧

【生活歴】 喫煙 60本/日×10年。30歳より禁煙中。飲酒 2合/日。

【所見】 喉頭ファイバースコープでは下咽頭右梨状陥凹に隆起性の腫瘍性病変を認めた(図1)。右声帯可動性がやや減弱しており、口腔・上～中咽頭に異常はなし、頸部の触診では右上内深頸部と下内深頸部にそれぞれ20mm大のリンパ節腫大を認めた。



【図1】

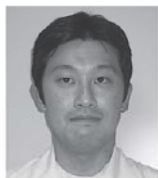
問題1：診断は？

問題2：行うべき検査は？

問題3：治療法は？

解答と解説

青梅市立総合病院 耳鼻咽喉科 角 卓 郎



問題1 下咽頭癌（右梨状陥凹原発扁平上皮癌 T2N2bM0, stage IV）

下咽頭の腫瘍より生検を行い、扁平上皮癌の診断を得ました。

問題2 胸部X線検査、頸部CT・MRI検査、上部消化管内視鏡検査

下咽頭癌は頸部リンパ節転移を来しやすく、遠隔転移の好発部位は肺です。頸部CT/MRI検査にて頸部リンパ節転移を評価し、胸部X線検査にて肺転移の有無を評価します。

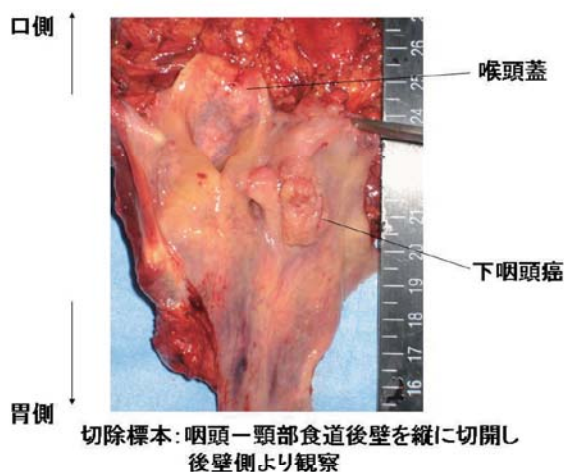
この症例では肺転移は認めず、頸部CT・MRIでは右頸部に2個のリンパ節腫大を認め、頸部リンパ節転移（N2b）と診断しました。軸位断のCT・MRIでは腫瘍の下方進展が4cmあることが疑われました。

下咽頭癌を含めた頭頸部癌は多重癌が多いことが言われています。特に多いのが食道・胃といった上部消化管です。当科では多重癌のスクリーニング目的に、頭頸部癌の患者さんには積極的に上部消化管内視鏡検査を勧めています。この症例では元々無症状でしたが切歯より28-31cmの部分に胸部食道癌を認めました（Type I + IIc, Mt, T2N2M0, stage III）。また上部消化管内視鏡のNBI機能で下咽頭腫瘍を精査したところ、喉頭への上皮内進展を認めました。

問題3 ①手術 ②放射線化学療法

この症例のような場合、手術が第一選択となります。しかし手術の場合喉頭（声帯）を全摘してしまうため、発声不可能になるという欠点があり、また近年放射線化学療法の成績が向上しているため、根治性と機能温存を考慮の上、ご本人と相談し治療法を決定しています。その結果今回は手術を行いました。術式は咽頭喉頭食道全摘、頸部郭清、甲状腺半切、縦隔郭清、胃管挙上再建で、外科と耳鼻科の合同手術でした。

下咽頭癌は30×25×15mm（図2）、右頸部リンパ節は多数腫大しており、最大で30mm大、内頸静脈に浸潤が見られましたが、食道癌と共に治癒切除しました。



【図2】

一般に下咽頭癌は治療成績が不良な疾患で、5年生存率は依然50-60%程度です。下咽頭癌は自覚症状が乏しく、ある程度の大きさにならないと自覚しないため、受診時には病期が進んでいることが多いことが最大の理由です。下咽頭癌の治療には早期発見が最も重要です。

初発症状はのどの違和感、ものがつかえてのみこみにくい、といったありふれた症状がほとんどです。頸部リンパ節転移が初発症状のこともあります。また近年は上部消化管内視鏡検査で無症状の下咽頭癌が見つかりご紹介いただくことも多くなりました。

原因は喫煙とアルコールの関与が強く指摘されています。

診断は耳鼻咽喉科で行う喉頭・下咽頭内視鏡で可能です。

治療は手術と放射線療法があり、もう一方の放射線治療は60～70Gyを照射、近年では化学療法を併用し、治療成績向上を図っています。

新入会員紹介

羽村市 ワタナベ整形外科 渡邊哲哉会員



はじめまして。今年から羽村でワタナベ整形外科を開業しました渡邊哲哉と申します。今年の3月まで相模原にある北里大学で整形外科講師として7年間勤務していましたが、5月12日より実家のある羽村で開業させていただきました。趣味は旅行、映画鑑賞です。運動はサッカー、野球を大学の整形外科チームで時々やっています。ゴルフも年に数回程度やっています。空手を去年までメタボ対策にやっていたのですが、開業準備で忙しくなり現在お休みしています。家族が住む自宅が羽村から離れた横浜の青葉区にあるため週2日だけ帰るだけで単身赴任に近い状況です。家族は家内と長男（中2）、長女（小6）の4人と今年8歳になるラブラドルレトリバーです。離れて暮らすと家族の大切さが実感できるものです。まだ始まったばかりのクリニックですが、地域医療に出来るだけ貢献したいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

地区だより

青梅市医師会総会開催

広報部

6月20日（金）に平成20年度青梅市医師会総会が三河屋で開催された。予定数を上回る31名の出席者があり、開会に先立ち先日ご逝去された佐々木章先生への黙とうを捧げた。中野会長挨拶の後、会計担当（宮下会員）から平成19年度の収支計算の報告があり了承された。

ついで特定健診担当委員（野本会員）から健診についての追加説明と出席者からの質問を受けたが、空腹時血糖検査を該当欄に記入（随時血糖ではない）する。各データの記入欄に注意する。今年75歳になる人には郵送が遅れるので希望者は健康センターに問い合わせる。……などの説明があった。

その後本年度の青梅市の防災訓練（担当：

小林浩会員）について詳細な説明があり、その際出席者全員に会報の平成18年度9月号の地震災害特集のコピーが配布された。もはや非現実的ではなくなった地震災害発生の危機を迎え、訓練には青梅医師会の当番医以外にも会員の積極的な参加が望まれた。なお今年度の青梅市防災訓練会場は明星大学で8月31日午前8時より2時間の予定。

総会終了後は移動せずに即刻懇親会会場となり、酒気帯びの先生方で終始賑やかな雰囲気になり、原先生の閉会の挨拶は総合病院の医師数が130名の大所帯になったことにふれ今後とも医師会と一層協力してさらなる相互紹介を希望する旨を話され、3本締めで10時すぎに無事お開きとなった。

（文責：鹿児島 武志）

広報部

青梅市立総合病院 外来診察分担表

平成20年6月2日現在

診療科	月	火	水	木	金
新患担当	交代で	交代で	交代で	交代で	交代で
総合内科	交代で	交代で	交代で	交代で	交代で
血液内科	熊谷	桑川・久保(午後)	中内	久保	熊谷・中内(午後)
内分泌代謝科				浅野	
	関口・櫻田(午後)	関口(午後)	櫻田	櫻田(午後)	関口
腎臓内科	栗山	木本	佐藤		木本
神経内科	高橋	三澤	原・高橋(午後)	高橋	仁科
呼吸器科	木原・磯貝 ・小松(午後)	高野・須原	山内・杉浦	木原・杉浦	磯貝・小松
消化器科	浅川	細井・草野	舂石・草野	濱野	並木
	濱野・舂石(午後)			野口・浅川(午後) ・並木(午後)	細井
循環器科	清水・中村	大友・大坂 ・白井(午後)	澤田・小野	栗原・坂本・横田	大西・高山
リウマチ膠原病科	長坂(午後)	宮部	長坂(午後)		長坂(午後)
外科	永吉・吉田	正木・金山	青木・山崎	正木・内山・杉崎	青木・松倉
胸部外科(予約)	大島(午後)		白井(午後)		
脳神経外科	高田		高田	久保田	芳村
整形外科	当番医	鈴木(康)・川崎 ・平川	鈴木(康)・折井 ・山田	当番医	川崎・折井・平川
産婦人科 妊婦	吉川	依光	古賀	山中	大本
婦人予約	小野・古賀	陶守・小野	大本・山中	吉川	陶守・依光
婦人一般	陶守・依光	吉川／山中・栗原	篠原・依光	陶守・古賀・大本	小野・栗原
皮膚科	馬場	馬場	馬場	馬場	中村
泌尿器科	友石	足立	松本	友石	当番医
小児科	林・横山 ・馬場・古山	横山・小山 ・自見・寺嶋	林・馬場 ・小山・清水	横山・馬場 ・古山・自見	林・小山 ・寺嶋・清水
眼科	森・末吉	末吉・江里口	当番医	森・末吉	森・江里口
耳鼻咽喉科	当番医	角・山口	当番医	菅又・山口	角・菅又
精神科 新患	山口	日野	武藤	日野／武藤	山口／日野・井上
	再来予約	日野	山口・武藤	三ツ汐・日野	山口
放射線科	佐藤(IVR)				鮎川(放治)
リハビリテーション科		原田		原田	
口腔外科	黒川	黒川	佐藤・黒川	黒川	黒川

※ 内科系の網掛けは、予約診察です。

※ 複数の医師を／で区切っているのは、週ごとに交代での診察となります。

※ 休診、または代診等で当日の担当医が変更となる場合がありますので、御了承ください。

平成20年6月

公立福生病院 外来診療担当医表

診療科目	曜日		月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
内科	1診	勝又(麻) (膠原病)	岡本・玉野(交時) (予約制)	岡田 (予約制)	神庭内科:栗原 (2・4週予約制)	北島 (1・4週予約制)	高橋	高橋	神庭内科:柴木 (予約制)			
	2診	岩田 (呼吸器)	菅原 (呼吸器)	菅原 (呼吸器)	一般外来:岡田 (神経内科)	菅原 (呼吸器)	菅原 (呼吸器)	菅原 (呼吸器)	菅原 (呼吸器)	菅原 (呼吸器)	菅原 (呼吸器)	菅原 (呼吸器)
	3診	菅原 (呼吸器)	菅原 (呼吸器)	菅原 (呼吸器)	菅原 (呼吸器)	菅原 (呼吸器)	菅原 (呼吸器)	菅原 (呼吸器)	菅原 (呼吸器)	菅原 (呼吸器)	菅原 (呼吸器)	菅原 (呼吸器)
多目的診察室												
神経科												
循環器科												
心臓血管外科												
小児科												
外科												
整形外科												
脳神経外科												
皮膚科												
泌尿器科												
産婦人科												
眼科												
耳鼻咽喉科												
ペインクリニック												
検診												

*受付時間 < AM8:30~AM11:30まで
PM1:00~(診療科によって異なります)【下線表示=女性医師】

(作成 6月3日)

公立阿伎留医療センター 外来部門診療担当医表 (診察は予約を要します)

平成20年6月1日

	月	火	水	木	金	土
内科 10-1	西成田 進	西成田 進	荒川泰行(検診・肝)	山上 賢治	西成田 進	休 診
Bブロック 午後				柳田和弘(DM毎1.3週)		
10-2	青木 正紀	青木 正紀	高橋 英治		青木 正紀	
10-3	横山 潔	横山 潔	矢嶋真弓(消化器)	横山 潔(DM)	中川 太一	
10-5	久野木 直人	天木秀一(消化器)	中川 太一	西成田 進(検診)	久野木 直人	
10-6	荒川泰行(検診・肝)	小野 真一	西成田 進(ウマ子)	森 一博		
11-1		渡邊 圭介		鬼田 敬洋		
11-2	熊澤 文雄	原 元彦(神経内科)	鬼田 敬洋	熊澤 文雄		
11-3	山上 賢治	金子 菜穂	土屋 貴彦	金子 菜穂	土屋 貴彦	
11-5	山上 賢治(禁煙外来)		村上 純子	蓬田 茂(腎)		
救急科	向山 剛生	野田 彰浩	向山 剛生	向山 剛生	野田 彰浩	
血液透析	野田 彰浩	向山 剛生	朝岡 博	野田 彰浩	佐藤 安男	
人間ドック			西成田 進		佐藤安男	
小児科 Aブロック	森本 繁夫	森本 繁夫	中川万樹生	森本 繁夫	森本 繁夫	
Bブロック	岩本 孝夫	中川万樹生	岩本 孝夫	中川万樹生	岩本 孝夫	
午後	中川万樹生		岩本 孝夫	中川万樹生	岩本 孝夫	
外科 1	柴田 昌彦	矢嶋 幸浩	柴田 昌彦	柴田 昌彦	矢嶋 幸浩	
Aブロック 2	矢嶋 幸浩	阿部 英雄	平野 由美(形成)	松尾 定憲	阿部 英雄	
3			阿部 英雄		松尾 定憲(第1)	
午後	柴田昌彦(頭暈専門外来)2~4	乳がん検診(午後1時~2時)	矢嶋(CVボ-ト挿入外来)毎第3			
整形外科 Cブロック	小野 秀樹	若林 健	小野 秀樹	小野 秀樹	小野 秀樹	
脳神経外科 Cブロック	中島 智直	鶴田 尚志	鶴田 尚志	鶴田 尚志	中島 智直	
午前	伊藤 宣行	鳥居 正剛	前村 栄治	伊藤 宣行	田中 雅樹	
午後				田中 雅樹(物忘れ)		
皮膚科 Dブロック	勝田 倫江	勝田 倫江	勝田 倫江	勝田 倫江	石田 正	
午後	石田 正(第1.2.3.4)	佐藤 洋平	石田 正(第1.2.3)		倉田麻衣子	
泌尿器科 1	佐藤 安男	朝岡 博	仲野谷祐嗣	仲野谷祐嗣	岡田 清己(専門)	
Cブロック 2	朝岡 博	仲野谷祐嗣	佐藤 安男	朝岡 博	朝岡 博	
午後	予約検査	予約検査	予約検査	予約検査	予約検査	
産婦人科 Eブロック						
婦人科と初診	大山 俊雄	松本 公一	吉村 理	大山 俊雄	松本(2・4)吉村(1・3・5)	
産科と妊婦健診	吉村 理	大山 俊雄	松本 公一	吉村 理	大山(2・4)松本(1・3・5)	
眼科 Dブロック	松木奈央子	松木奈央子	松木奈央子	木村 隆	松木奈央子	
午後	井之川宗右	山本亜希子		松木・五月女(手術)		
予約検査	手術	予約検査	予約検査	予約検査	予約検査	
耳鼻咽喉科 1	大畑 敦	大畑 敦		田中 是		
Dブロック						
麻酔科 Eブロック		清水 健次		坂本 英明		
緩和ケア相談 午後	江上 格(午後2時~)				戸澤育文(午後2時~)	
緩和ケア外来Eブロック				江上 格(午後2時~)		
歯科口腔外科 Eブロック(午前・午後)	山下 千穂	山下 千穂	山下 千穂	山下 千穂	山下 千穂	
	山田 幸					

内科外来・検査担当医表 (診療は予約を要します)

平成20年6月1日

	月	火	水	木	金	土
内科 10-1 午前	西成田 進	西成田 進	荒川泰行(検診・肝)	山上 賢治	西成田 進	休 診
Bブロック 午後				柳田和弘(DM毎1.3週)		
10-2 午前	青木 正紀	青木 正紀	高橋 英治		青木 正紀	
午後						
10-3 午前	横山 潔	横山 潔	矢嶋真弓(消化器)	横山 潔(DM)	中川 太一	
午後						
10-5 午前	久野木 直人	天木秀一(消化器)	中川 太一	西成田 進(検診)	久野木 直人	
午後						
10-6 午前	荒川泰行(検診・肝)	小野 真一	西成田 進(リウマチ)	森 一博		
午後						
11-1 午前		渡邊 圭介		鬼田 敬洋		
午後		江本 浩(循)	鬼田 敬洋			
11-2 午前	熊澤 文雄	原 元彦(神経内科)	熊澤 文雄	熊澤 文雄		
午後						
11-3 午前	山上 賢治	金子 菜穂	土屋 貴彦	金子 菜穂	土屋 貴彦	
午後	山上 賢治(禁煙外来)					
11-5 午前			村上 純子	蓬田 茂(腎)		
午後					早川 純子	
緩和ケア相談 午後	江上 格(午後2時~)				戸澤育文(午後2時~)	
緩和ケア外来Eブロック				江上 格(午後2時~)		
救 急 科	向山 剛生	野田 彰浩	向山 剛生	向山 剛生	野田 彰浩	
	野田 彰浩	向山 剛生		野田 彰浩		
M D L	技 師	技 師	技 師	技 師	技 師	
胃 カメラ	中川 太一	田原邦朗・久野木直人	横山 潔	高林 肇	矢嶋 真弓	
大腸・ERCP	横山 潔・久野木直人	横山 潔・久野木直人	西田 茂・横山 潔	横山 潔・久野木直人	柴田昌彦・矢嶋幸浩	
	中川 太一	中川 太一	中川 太一			
気管支ファイバー					熊澤 文雄	
腹部エコー	午前 中川太一(人間ドック)	中川太一・栗田榮子	横山 潔(人間ドック)	久野木 直人	久野木直人(人間ドック)	
	午後	矢嶋幸浩・阿部英雄	矢嶋 真弓	栗田 榮子	矢嶋 真弓	
心 エコー		玉城哲夫(第3週)		鬼田 敬洋		
トレッドミル				鬼田 敬洋		
ホルター心電図				鬼田 敬洋		
血液透析	仲野谷祐嗣	朝岡 博	朝岡 博	仲野谷祐嗣	佐藤 安男	
放射線治療	大西 洋 (午前)				萬利乃 寛 (午前)	
	医師の都合により曜日の変更あり(確認の必要あり)					
人間ドック			西成田 進			休 診
研 究 日			久野木 直人		横山 潔	
				土屋 貴彦		

外科診療担当医表

外科 午前	1	柴田 昌彦	矢嶋 幸浩	柴田 昌彦	柴田 昌彦	矢嶋 幸浩	休 診
Aブロック	2	矢嶋 幸浩	阿部 英雄	平野 由美(形成)	松尾 定憲	阿部 英雄	
	3			阿部 英雄		松尾 定憲(第1)	
			矢嶋 幸浩				
乳癌検診 13時~14時			阿部 英雄				
超音波 乳腺エコー			矢嶋 幸浩	阿部 英雄	松尾 定憲		
			(14時~16時)	(11時30分~13時)	(11時~13時)		
腫瘍専門外来 14時~16時		柴田 昌彦					
CVポート挿入外来 14時~15時				矢嶋 幸浩			
病 棟				毎週第3水曜日			
		松尾 定憲	柴田 昌彦	矢嶋 幸浩	阿部 英雄	松尾 定憲	
			松尾 定憲	矢嶋 幸浩			

理事会報告

★ Information

5月定例理事会

平成20年5月27日(火)

西多摩医師会館

[出席者：真鍋・横田・中野・鹿児島・小机・川間・鈴木・田坂・蓼沼・野本・松山・宮下・渡辺・松原・足立]

【1】報告事項**1. 都医地区医師会長協議会報告****2. 各部報告**

総務部：西多摩三師会 6/14 (土) (総会・講演会・懇親会) への出席について (フォレストイン昭和館)

学術部：5/21 学術講演会報告 (青梅市立総合病院)

6/12 学術講演会

6/27 学術講演会「認知症のリスクを見据えた糖尿病診療」

東京都老人医療センター内分泌科 荒木 厚先生

3. 地区会よりの報告 (各地区理事)

青 梅：5/16 特定健診について説明会

5/25 市民健康相談

福 生：6/12、13 特定健診について

羽 村：5/16 地区会で特定健診について説明会。電子化は民間業者に依頼。

あきる野：5/19 地区会

5/23 特定健診について説明会

瑞 穂：なし。

日の出：なし。

4. その他報告**【2】報告承認事項****1. 入会会員について —— 承認 ——**

A会員：三ツ汐 洋 ちひろメンタルクリニック

B会員：青梅市立総合病院 2名 公立阿伎留医療センター 1名

2. 羽村市特別支援教育就学指導委員会委員の推薦について —— 承認 ——

三ツ汐 洋会員 (ちひろメンタルクリニック) を推薦

任期：決定日から平成21年3月31日

3. 西多摩地域保健医療推進プラン改定部会委員の推薦について ― 承認 ―
小机 敏昭会員（小机クリニック）
任期：平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日

4. 公立福生病院改革推進委員会委員の推薦について ― 承認 ―
真鍋会長を推薦

【3】協議事項

1. 会員登録の抹消について ― 承認 ―
西多摩病院開設者・管理者の変更を督促中のところ、突然廃業し、(医社) 葵会に事業継承されました。(葵会 西多摩病院は今回入会) これに伴い(医社) 博生会西多摩病院管理者 (年会費は 1 期 (20 年 4 月～7 月まで) 入金済) を抹消する。
2. 特定健診市町村との契約・代表保険者との集合契約などについて
3. 平成 20 年度第 1 回定時総会について (会員総数 507 名、法定充足数 254 名)
会員出欠状況 (議場出席者予定者 40 名、委任状提出者 229 名) 議長について、その他。
4. 西多摩地区における関節リウマチの病診連携に関するアンケート実施の依頼について (野本理事)
条件付で承認 (会報、臨床報告会に掲載する)
5. その他
- 日本医師会文書管理システム運用について
 - 20 年度会員名簿の作成状況について (5 月 1 日現在)
記載事項校正確認 (5 月末)
完成予定 (7 月)
配布 (8/8 予定)
 - 第 2 回地区医師会健診・保健指導担当理事連絡会
代表保険者と地区医師会との「国保ベースの集合契約」について
 - 7 月 14 日 (月) 納涼の夕べの講演会当番病院について
青梅市立総合病院へ講師依頼の件
 - 三師会 各会で 2 名の学術担当を、医師会はあきる野・小机 担当、青梅・野本 担当

会員通知

- 会報
- 宿日直表（青梅・福生・阿伎留）
- 産業医研修会（6/14 東京都医師会）
- 平成20年度西多摩医師会第1回定時総会報告
- 学術講演会（6/12）
- 訃報（葉山侃先生）
- 産業研修会（7/26 西多摩医師会）
- “ ” （11/29 城北ブロック）
- “ ” （7/19 蒲田医師会）
- “ ” （10/9 産業医学振興財団）
- “ ” （9/7 東邦大学医師会）
- “ ” （8/10～16 東京医科歯科大学医師会）
- “ ” （7/6 中央区医師会）
- “ ” （10/18 玉川医師会）
- 緩和ケア研修会開催の御案内
- 青梅市立総合病院日より
- 裁判員制度チラシ
- 振り込め詐欺ポスター
- 平成20年度産業医関係予定
- 平成20年度東京都医師会主催「日本医師会生涯教育講座」第2期（8月～11月期）の開催について
- 訃報（佐々木章先生）
- 公立福生病院・医師会合同症例検討会のお知らせ（6/16）
- 「納涼の夕べ」開催のご案内（7/14）
- 学術講演会（6/27）
- 公立阿伎留医療センター医局講演会（6/30）

医 師 会 の 動 き

医療機関数 214 病院 29
 医院・診療所 185
 会 員 数 508 A会員 205
 B会員 303

会議

6月9日 新規指定保険医療機関指導
 13日 在宅難病訪問診療（青梅）
 18日 新旧役員懇親会
 20日 在宅難病訪問診療（青梅2）
 23日 西多摩産業保健センター運営協議会
 23日 会報編集委員会
 24日 定例理事会

講演会・その他

6月9日 保険指導整備委員会
 12日 学術講演会
 演題：日本人にあった糖尿病治療
 —インスリン分泌促進薬の
 有用性—
 講師：和歌山県立医科大学
 教授 南條 輝志男 先生

13日 病院部学術講演会
 演題：試練の時代の自治体病院経営
 医師はなぜ、立ち去るのか
 —地域医療再生のために
 演者：城西大学 経営学部
 准教授 伊関 友伸 先生
 16日 公立福生病院・医師会合同症例検討会
 症例（1）泌尿器科
 緊急処置を要した泌尿器科救急
 疾患の2症例：精索捻転症と持続勃起症
 演者：公立福生病院
 泌尿器科医長
 篠島 利明 先生
 泌尿器科医師
 武田 利和 先生
 症例（2）産婦人科
 胎児心奇形の1例
 演者：公立福生病院
 医療部部長産婦人科
 清水 雄二 先生

お知らせ

事務局より お知らせ

平成20年8月(7月診療分)の

保険請求書類提出**8月8日(金)**

— 正午迄です —

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を
毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽に
ご相談ください。

- ◎相談日 7月は9日(水)
8月は13日(水)の予定です。
- ◎場所 西多摩医師会館和室
- ◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

訃報

あきる野市引田552
葉山医院

葉山 侃 先生

大正10年9月8日生 享年86才

平成20年6月5日逝去されました。謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。



訃報

青梅市師岡町2-363-3
佐々木整形外科

佐々木 章 先生

昭和6年12月12日生 享年76才

平成20年6月9日逝去されました。謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。



あ と が き



四川大地震による被害状況も覚めやらぬうちに岩手宮城内陸地震の報道である。亡くなられた方にはお気の毒なことだが二次災害の懸念はあるとしても四川よりもはるかに被害規模は少ない。地震予知や地殻の変動については諸説があるが、中国の地盤も日本のそれもそろそろガタがきているのだろう。

ガタが来ていると言えば中高年で急激に運動を開始すると思わぬ怪我をすることがある。

一方「ほどほどに」を乗り越して頑張り過ぎるとこれまたオーバートレーニング症候群といういかめしい名前の病名を頂く事になって自らの年齢に悪態をつくことになる。筋肉や靭帯の能力を超えた運動負荷はたとえその時には楽しくとも翌日の診療に影響が出てきて、目ざとい患者さんに体調の悪さを指摘されるはめになる。メタボの患者には腹八分にと話すが、先日の体験からは痛む膝小僧をさすりながら自己トレーニングもどうやら八割程度がよさそうだと実感した。

鹿児島 武志

社団法人 西多摩医師会

平成20年7月1日発行

会長 真鍋 勉 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 鹿児島武志

宮下吉弘 近藤之暢 江本 浩 鈴木寿和 馬場眞澄

菊池 孝 桑子行正 會沢義之 土田大介 田村啓彦

印刷所 マスタ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993

健康が 21世紀の扉を開く



命の輝きを見つめ続けて……
(株)武蔵臨床検査所

食品と院内の環境を科学する
F・S サービス

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 042-964-2621 FAX 042-964-6659